

小児がん拠点病院(仮称)を考える際の論点(案)

- ① 拠点病院の目的(均てん化、集約化、医療の質向上等)について。
- ② 拠点病院の名称(拠点病院、モデル病院等)について。
- ③ 拠点病院の当面の数、地域バランスをどのように考えるか。
- ④ 拠点病院の要件について
 - がん診療連携拠点病院の要件を土台にして考えてはどうか。
 - その場合、がん診療連携拠点病院に指定されている病院と、指定されていない小児病院をどのように取り扱うか。
 - 診療実績をどのように考えるか。
 - 一部のがん種(血液腫瘍など)について実績のある病院をどのように取り扱うか。
 - 拠点病院の要件に盛り込むべき事項としてどのようなものがあるか。
 - 集学的治療や標準治療の提供体制
 - 緩和ケア
 - 病理診断
 - 地域連携
 - 診療施設
 - 相談支援・情報提供
 - がん登録
 - 臨床試験
 - 中核的機関との連携
 - がん診療連携拠点病院に盛り込まれていない要件について
 1. 小児診療に特有の要件(療育環境、長期フォロー、家族支援、成人診療科への橋渡し等)
 2. それ以外の要件
- ⑤ 全国の中核的な機関に求められる機能について(研修、臨床試験、相談支援・情報提供、拠点病院の診療支援(病理、治療計画等)等)